

施策評価調書（基本目標別）

<p>主要施策</p>	<p>運営基盤の強化</p>
<p>施策の趣旨</p>	<p>「『強靱』な水道の構築」、「『安全』な水の供給」、「お客様からの『信頼』の確保」という3つの基本目標の達成を支えていくため、人材面・業務能率・経営面について強化を図ります。</p>

<p>評価結果の概要</p>	<p>3つの基本目標の達成を支える存在である「運営基盤の強化」には、7の主な取組を位置付けております。各施策及び取組について、担当課の自己評価をもとに内部評価を行った結果、28年度については、 「達成状況」に係る評価は、7つの取組を「a」評価（達成している）としました。 「成果」に係る評価は、「b」評価（概ね成果が出ている）としました。</p>
----------------	---

<p>主要施策ごとの当年度の取組と内部評価結果</p>	
<p>運営基盤の強化</p>	<p>「成果」 b</p>
<p>主な取組</p> <p>実践的な技術研修の実施</p> <p>職員の育成と能力開発</p> <p>計画的な人材確保</p> <p>民間活力の活用による事業の推進</p> <p>情報化の推進</p> <p>品質確保に留意したコスト削減</p> <p>健全経営の確保</p>	<p>「達成状況」</p> <p>a</p> <p>a</p> <p>a</p> <p>a</p> <p>a</p> <p>a</p> <p>a</p>

<p>外部評価会議委員の評価</p>	<p>「達成状況、成果」についての内部評価の妥当性</p> <p>A：妥当である 4人 B：概ね妥当である 1人 C：不十分である 0人</p>	<p>成果指標及び目標値の設定方法と評価の仕方について、今後の改善をご検討いただくということを前提として、「A：妥当である」と評価します。</p> <p>施策の成果について、現在の評価方法に改善の余地があると感じるため、「B：概ね妥当である」と判断します。</p>
<p>外部評価会議委員の主な意見等及び水道局の回答</p>	<p>運営基盤の強化の各施策の内部評価等に関して、評価委員から出された意見等及び水道局からの回答は以下のとおりです。</p> <p>運営基盤の強化 施策の成果</p> <p>執行額の中に繰越額を含めるべきではないと思うが、繰り越した事業のうち大半は28年度中に執行済みということか。</p> <p>(水道局回答)</p> <p>繰越額は、28年度中に契約・執行し事業として着手したもののうち、年度を跨いで継続している事業の28年度分及び年度内完了を見込んでいたが工期が延期となった事業について、年度内での完了検査・支払ができなかったため29年度に繰り越したものです。事業の大部分は28年度中に終了しており、28年度分の事業に相当するものと認識しております。</p> <p>主な取組がすべてa評価にも関わらず、施策の成果はb評価となっているが、このような結果になった要因をどのように考えるか。</p> <p>(水道局回答)</p> <p>「運営基盤の強化」に位置付けた内部管理の取組は全て目標を達成しているものの、基本目標の主要施策や主な取組が一部未達成であったためb評価としました。未達成の要因となった「入札不成立」や「道路建設工事の遅延」、「道路管理者との協議」、「水源の水質悪化」等は外的要因であるので、内部管理の取組ではなく、個々の事業の取組の中で解消・低減化に向けた対策を講じていきます。</p> <p>目標値の水準が高く達成が困難であると思われるので、外的要因をある程度許容するように目標を設定するべきではないか。また、取組と施策の評価の因果関係をしっかりと説明した上で、成果指標の設定方法についても、今後ご検討いただきたい。</p>	